



道又秀悦議員

道路行政

山田IC付近の交通渋滞緩和

現在は落ち着いた状況

質問 山田インターチェンジ付近の交通渋滞緩和について、19年第4回定例会で質問した際、19年10月30日に県公安委員会へ要望書を提出したとの答弁であったが、その当時の見解と現在の取り組み状況は。

沼崎町長 岩手県公安委員会と三陸国道事務所が、交差点の12時間交通量調査のデータに基づく調査検討や試験的な信号機の調整などを行った結果、渋滞ではないとの見解であった。

しかし、現実には「信号待ち渋滞」が発生しており、その原因は、非常に短い時間帯に交通量が集中している

ることである。

要望している「左折青矢印」は▼信号機の増設に加え、直進車両が滞留することで左折が阻害されるため約7分の左折レーン延長を必要とし、相応の工事費用が必要となる▼改良の効果は必要交通量の約3倍の可能交通量を生み出し、過大すぎる——ことなど、費用対効果の悪さから実施は困難ということである。

現在、既存信号機の時間調整、山田病院側から町内に右折する車両の滞留長を長くするなど、交差点全体の流れを改善する対策を施し、落ち着いた状況である。

旧山田病院

早期取得し図書館に さらに協議を進める予定

質問 20年第3回定例会町

長所信表明で「町立図書館の整備については、旧県立山田病院の敷地・建物を購入することを前提に県医療局との交渉を進め、21年度を目指して移転整備してま

町の考えを聞く



県医療局と敷地、建物の購入について協議が進められている旧県立山田病院

沼崎町長 町立図書館については、旧県立山田病院の敷地、建物を購入することを前提に、県医療局との交渉を進め、整備したいと考えてきた。

県医療局では、本年度中に契約、譲渡したいとして、附帯施設や施設内に残された備品等廃棄物を調査し、処理費用の積算をしているところであり、さらに協議を進める予定である。

なお、取得後については、旧山田病院利活用外部検討委員会を立ち上げ検討する予定である。

いります」と述べていたが、現在の図書館は、蔵書のすべてを配架できないことや閲覧場所がないなど、町民に不便をかけており一日も早い整備を望むが、県医療局との交渉状況は。